

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	北区役所					評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	多様化・複雑化する区民ニーズや地域課題に対応するため、多様な主体と連携し、持続的な地域振興に取り組みます。	行財3-2-③	北区の課題解決を目的とする事業実施者への支援数	補助事業者数 1	補助事業者数 2	まちづくりパートナーシップ事業	北区が設定したテーマ(課題)に沿った事業にかかる経費を補助金として負担し、持続的に地域振興に貢献する事業を支援します。	○	令和5年度実施事業として補助対象事業者1、令和6年度実施事業として補助対象事業者候補1の合計2事業者を決定しました。令和5年度実施事業では、福島潟自然文化祭の雁迎灯のLED化を行いました。	令和7年度を最終実施年度として、提案を募集したい課題(テーマ)があれば募集し、補助対象事業者を決定し、地域課題解決に向けた事業を実施していただきます。あわせて、令和5年度、令和6年度実施事業については、持続可能な事業になるよう支援していきます。
2	避難スペースの確保に一層努めるとともに、発災当初から円滑に避難所を開設・運営できるよう、地域住民、施設管理者、行政職員の3者連携のもと、平時からの避難所ごとの運営組織の立ち上げを推進します。	政策13-1-②	避難所運営組織の立ち上げ数(避難所数)	2避難所 (累計13避難所)	3避難所 (累計14避難所)	「高めよう互近助力」地域でつくる避難生活運営体制事業	全避難所での運営体制構築を目指し、8地区ごとにモデルとなる避難所運営組織の立ち上げを支援します。	○	木崎地区、早通地区においてワークショップなどの支援を行い、3避難所で運営組織が立ち上がりました。	令和6年度は、新たに2地区において同様の支援を実施予定です。事業としては、令和7年度に最終年を迎えます。
3	自治会・町内会、地域コミュニティ協議会、市民団体などとの協働により地域課題を解決します。	行財3-2-②	協働した団体数	18	16	・地域活動補助金 ・コミ協運営助成金 ・コミ協等への支援(助言等)	地域課題の解決を図る活動などに補助金を交付し、地域による自主的・主体的な活動の取り組みの促進を図ります。また、地域コミュニティの活性化と分権型協働都市の実現のため、地域コミュニティ協議会の運営を支援します。	△	全11コミュニティ協議会へは補助金交付を通じて活動支援を行いました。団体数は減となりましたが、コロナの5類移行に伴い事業数は増加しました。	今後も引き続き、地域活動補助金やコミ協運営助成金を通じ、地域による活動の取り組みを支援していきます。

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標		作成日	R5.5.10
組織名(部)	北区	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課 (北区郷土博物館)			評価日	R6.3.31

○: 達成  
△: 一部未達成  
×: 未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標		主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
			取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	市民が文化芸術に気軽に鑑賞・体験・創作・発表できる機会を充実させます。	政策2-1-①	北区郷土博物館の来館者数及び関連事業参加者数	5,900人	7,557人	常設展の充実 魅力ある企画展の開催 第1回こども作品展の開催 夏休み体験教室の開催 むかしの道具コーナー展示 市民ボランティアの活動支援	常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」を展示するとともに、魅力ある企画展を開催し市民が文化芸術に親しむ機会を創出します。また、子どもが夏休みに手織やわら細工などを体験する機会を設けるとともに区内の小学校の協力を得て児童が夏休みに作成した作品を展示します。	○	・来館者(4/1~3/31) 7,321人 ・学芸員派遣講座等参加者 6件236人	常設展示の充実と魅力ある企画展などの開催を継続します。
2	新潟市の歴史・文化の特性を物語る文化財や民俗芸能など、地域に根差した文化について、多様な主体との連携・協働により調査・研究を行うとともに、市民がその価値を認識する機会を創出します。また、担い手育成の支援などを通して、文化財等の保存・継承を行います。	政策2-3-①	有償刊行物の年間販売額	103,000円	180,800円	資料の収集、調査研究 刊行物の作成、配布・販売 郷土芸能発表会の開催 歴史・民俗に関する講座開催	北区の歴史・文化の特性を物語る文化財や民俗芸能等について、市民がその価値を認識する機会を創出します。また、当館所蔵文化財等の保存に努めるとともに、地域に残る文化財等の保存・継承を支援します。	○	・有償刊行物の販売(4/1~3/31) 207冊、180,800円	資料の収集、調査研究 刊行物の作成、配布・販売 郷土芸能発表会の開催 歴史・民俗に関する講座開催を継続します。
3	市民の声を聞きとり、政策・施策に反映させるとともに、様々な市政情報を効果的な発信手段を用いて市民へわかりやすく伝えることで、政策・施策の効果を高めていきます。	行財1-1-①	広報媒体を活用した情報発信数	20	101	新聞、ホームページ等による情報発信	新聞等のマスメディア、ホームページ等を活用して当館の活動を市民にわかりやすく伝えて施策の効果を高めていきます。	○	・広報媒体での発信数 企画展等に関する広報 新聞、区だより、ポスター、雑誌、HP、FBなど (4/1~3/31) 計101	新聞、ホームページ等により有効な情報発信に努めます。

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考)	・新潟市の生活環境における大気・水・音などの状況が良好だと思ふ市民の割合 ・刑法犯認知件数 ・仕事に対する職員満足度 ・行政サービスのデジタル化により、利便性が向上したと思ふ市民の割合	作成日	令和5年4月26日
組織名(部)	北区役所	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課	評価日	令和6年1月31日

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	自然環境を環境教育や自然体験の場、地域づくりの場、ふれあいと憩いの場として活用します。	(北区区ビジョン)	取組み地区数(地区)	3	3	水辺ふるさとづくり事業	ひょうたん池や十二潟等で自然観察会や保全活動等を実施し、自然環境についてのふるさとへの誇りと愛着を育むとともに、次世代の担い手の育成を図ります。	○	3地区と協働で事業を実施しました。 今年度十二潟の活動が環境大臣表彰を受けました。今後も3つの水辺で地域と連携した環境保全活動を実施していきます。
2	幅広い年齢層が参加しやすい啓発手法を検討しながら、多様な主体と連携・協働した環境美化活動を推進します。	政策16-2-②	ボランティア清掃実施回数(回)	130	151	ボランティア清掃事業	自治会や各種団体で行う清掃活動を支援し、快適な生活環境づくりを行います。	○	151回実施、延べ約13,000人が参加しました。 コロナ前の実施回数に戻ることができました。引き続き、自治会や各種団体で行う清掃活動を支援し、快適な生活環境づくりを行います。
3	防犯に対する意識の啓発や、地域において防犯活動に取り組む防犯ボランティア団体等への支援を行うなど、防犯意識の高いひとづくりに取り組みます。	政策12-1-①	防犯パトロール及び防犯啓発活動の実施回数(回)	29	30	・犯罪のない安心・安全なまちづくり ・地域防犯活動の推進	・東港セーフティネットワークによる国際化の進展に対応した地域づくりを推進します。 ・地域や警察と連携して、防犯啓発活動を実施します。	○	・東港 セーフティネットワークによるパトロールを9回行いました。 ・防犯啓発活動は21回行いました。 コロナ後、市民活動が活発になっている影響か、刑法犯罪認知件数が増加傾向にあります。地域や警察と連携したパトロールを継続実施し、安心安全なまちづくりを進めていきます。
4	職員一人一人の能力や意欲を最大限引き出すための人材マネジメント機能を強化します。	行財1-4-①	職員向け研修実施回数(回)	5	5	職員向け研修の企画・実施	各係がテーマを設けて研修会を企画し、課内研修を実施します。	○	①区民窓口係: 支援措置・戸籍制度②税保険料係: 所得税、住民税の基本的事項③給付係: 障害年金④生活環境係: 北区の豊かな水辺環境と治水対策(視察研修)⑤課長補佐: 文書事務 研修を受講する職員だけでなく、講師となった職員も自己研鑽の場となりました。他課の参加者が多かったため、来年度はリクエストを受けるなどさらに工夫し、実施していきます。
5	マイナンバーカードを活用し、誰もが時間や場所に制約されず、オンラインで手続きが行えるようにします。	行財1-3-①	マイナンバーカード出張申請補助会の実施回数(回)	10	12	マイナンバーカード出張申請補助会の開催	マイナンバーカードを持ちたい方に対して、出張の申請補助会を行い、カードの普及率を向上させます。	○	全12回実施し、50人の申請を受け付けました。(回数: 岡方4、長浦4、早通4) (申請数: 岡方14、長浦12、早通24) 新潟市民のマイナンバーカード保有率が7割を超えました。一方、令和6年12月2日に健康保険証が廃止されることが閣議決定されました。廃止前の駆け込み申請などを見据えて、効果的な申請受付方法を模索していきます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合 ・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均) ・新潟市は子育てしやすいまちだと思う保護者の割合	作成日	令和5年4月1日
組織名(部)	北区	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課	評価日	令和6年3月31日

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	支え合いのしくみづくりに向け、多様な地域資源と連携し、その活動に対し支援しながら、地域での見守り体制の充実を図ります。	政策7-1-②	地域福祉推進委員会、福祉座談会の開催回数(回)	・委員会2回 ・座談会8回	・委員会2回 ・座談会8回	北区すこやか・あんしん・支えあいプラン2021	・地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催するとともに、開催後は取組の進捗状況について周知を図ります。 ・各地域コミュニティ協議会や区社会福祉協議会など福祉関係機関等との協働により圏域ごとに福祉座談会を開催し、周知を図ります。	○	・地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を6月及び2月(書面)に開催し、計画推進のための取組について報告・協議を行いました。 また、あらたに地域福祉座談会に係長クラスの職員に参加してもらい、各地区の取組み状況等を確認しつつ、区社会福祉協議会と協働してコミ協単位で8回開催しました。	・引き続き、地域福祉計画と地域福祉活動計画の推進を行い、今後も市総合計画にも関係する地域福祉計画を区民及び課員に周知していきます。
2	健康で安心・安全な住みやすい地域づくりを推進するため、高齢化の進展に伴い、増加が予想される認知症患者を早期に発見し、早期治療につなげます。	区ビジョン	もの忘れ検診の受診者数(人)	1,000人 H29年度数値	819人	北区もの忘れ検診事業(特色ある区づくり事業)	北区の65歳以上の希望者に、国保特定健康診査・後期高齢者健康診査を受診の際に「もの忘れ検診」を実施し、認知機能の低下が疑われる人に対して適切な支援サービスにつなげます。	△	・受診者は819人で、昨年度と比較すると54人少ない状況です。要経過観察者3人と、要精密検査者12人には、地域包括支援センターが関わり、必要なサービス利用に繋がっています。 ・受診者数を伸ばすため、以下の取り組みを行いました。 ①協力医療機関・地域包括支援センターと「北区もの忘れ検診検討会」を行いました。 ②医師会15班会議で2回実施状況を報告しました。 ③地域包括支援センター会議で実施状況を報告し、検診に対する要望など意見交換を行いました。 ④「北区もの忘れ検診通信」を新たに発行し、関係機関に発信しました。	・引き続き、多くの方に受診いただけるよう検診の周知に努めます。 ・医師会や包括支援センターなどと連携し、検診受診やフォローに繋がります。
3	多様な家族形態があることを前提に、地域の様々な人や団体が子供と子育て家庭への支援に参画できるよう、地域における子どもたちの見守りと情報提供を継続するとともに、子育て家庭への支援を推進します。	政策4-3-③	支援講座の実施回数(回)	28回	39回	・北区子育て応援事業  ・スクスクきたっこプロジェクト  ・LINEによる子育て応援情報配信事業	・子育て支援講座や多胎児を妊娠中の人やその家族向けの交流会の開催、地域団体への子育て支援講座の講師派遣により、子育てを支援します。 ・地域団体での多世代交流カフェや子育て応援イベントの開催により子育てを支える地域の実現、子どもがすこやかで心豊かに過ごし成長発達できるような地域づくりの推進を図ります。 ・SNSにより北区の子育て情報の配信をします。	○	・子育てをはじめ保護者向けの講座や多世代交流カフェの開催など、多面的に子育て支援講座を開催することにより、子育て家庭への支援を行いました。 BP/NP講座 5回開催 多世代交流カフェ 15回開催 パパ向け講座 3回 多胎児の会 12回開催 講師派遣 3回 こども対話 1回 計39回開催	・引き続き、子育て家庭の支援に向け、講座の実施やイベントの効果的な企画検討を進めていきます。
4	職員一人一人の能力や意欲を最大限引き出すための人材マネジメント機能を強化します。	行財1-4-①	研修実施(参加)数(回)	16回	16回	研修の実施・参加	・各係の業務などに関する課内外研修の実施するとともに、専門分野の研修会へ積極的な参加をして職員の資質向上をとおして、より良い市民サービスを行います。	○	・課内研修を4回、係内研修12回開催し、職員の資質向上に貢献しました。 また、窓口職員研修として区民生活課の研修にも積極的に参加しました。	・引き続き職員の資質向上に努め、市民サービスの向上を図ります。

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均) ・自分が健康だと思ふ市民の割合 ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思ふ市民の割合	作成日	令和5年4月1日
組織名(部)	北区	組織名 (準部・課・機関名)	北地域保健福祉センター	評価日	令和6年3月31日

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	全ての妊産婦が安心して子どもを産み育てられるように、妊娠期から出産後の切れ目ない支援を行います。	政策3-1-③	支援を必要とする妊産婦に対する相談及び訪問を実施した数(人)	対象者に対しての全数	対象者に対しての全数	母子健康手帳交付 新生児訪問 保健師等による訪問、 面接、電話相談	・月1回の支援検討会を開催します。 ・支援を必要とする対象者へ妊娠期から継続的な支援を行います。	○	毎月1回支援会議を開催し、支援を必要とする妊産婦延364人検討し、支援方針に基づく支援を行いました。	毎月、計画的に支援検討会を開催し、支援方針に基づく支援(相談及び訪問)を実施する。
2	市民一人一人の食生活や生活習慣の見直しを促進し、生活習慣病の発症を予防します。	政策4-1-①	各種保健事業や地区活動で健診データを活用した健康教育の実施(回数)	健康教育17回	健康教育17回	コミュニティ協議会等と連携した生活習慣病予防教室 保健事業や依頼健康教育	・生活習慣病予防教室を開催します。 ・健診データを活用した生活習慣病予防のための食生活や生活習慣の見直しに関する普及啓発を含めた健康教育を行います。	○	生活習慣病予防のための健康教育を17回実施しました。	生活習慣病予防のための食生活や生活習慣の見直しに関する普及啓発を含めた健康教育を地域の茶の間等で行います。
3	誰もが安心していつまでも健康に暮らせるまちを目指し、窓口業務や相談支援の質の向上に努めます。	行財1-1-①	処遇困難事例の事例検討会の開催(回数)	6回	6回	事例検討会 職員研修会(OJT含む)	・妊産婦や児童虐待、障がい児・者などの処遇困難事例を検討し、職員のスキルアップを通して、よりよい市民対応を行います。	○	要保護児童虐待等の処遇困難事例の検討会を6回実施しました。	・妊産婦や児童虐待、障がい児・者などの処遇困難事例を検討し、職員のスキルアップを通して、よりよい市民対応を行います。



# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	一人当たり市民所得 ・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合 ・週1日以上スポーツをする市民の割合 ・農業産出額推計値	作成日	R5.4.1
組織名(部)	北区	組織名 (準部・課・機関名)	産業振興課	評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	地域商業活性化に向けた取り組みを行い、新規誘客及び賑わいの場創出を目指します。	政策8-1-④	地域ごとのイベント等の実施(回)	3	3(延べ17回)	地域商業賑わい創出プロジェクト	うまいもん市場やこらっせ松浜市といった露店市場活性化のためのイベントを開催するほか、北区役所庁舎を活用したイベントを官民協働で開催し、地域の賑わいを創出します。	○	・露店市場を活用し、葛塚エリアで「うまいもん市場」を14回、松浜エリアで「こらっせ松浜市」を2回開催しました。 ・キテ・ミテ・キタ区フードフェスタを開催し、昨年の約1.5倍の7,100人を集客しました。	露店市等の賑わい創出につながっていることから、創意工夫し引き続き実施します。
2	海岸保安林の機能を維持するため、官民一体となった保全活動を推進するとともに、森林資源や環境を有効に利活用します。	行財3-2-②	保全活動の実施(参加人数)	180	209	海辺の森共創の場形成事業	ボランティアを募り、保安林に指定されている海辺の森の下草刈りなど保全活動を実施します。	○	保安林の保全活動を4回実施し、目標を上回るボランティアが参加しました。	海辺の森リニューアル事業に絡めた新たなエッセンスを検討します。
			イベント等での出店(回)	1	1		海辺の森の木質資源を活用するコミュニティビジネスの活動を支援します。	○	・キテ・ミテ・キタ区フードフェスタに出店できるよう調整し、販売やPRの機会を提供しました。	
3	スポーツ活動を通じたスポーツを愛好できる機運を醸成するとともに、文化・芸術事業による賑わいの創出と地域の活性化を図ります。	政策3-1-①	参加者数(人)	1,900	2,076	北区エンジョイスポーツ事業	区スポーツ協会などと連携し、下記イベントを開催します。 ・競技別大会 ・ニュースポーツ体験会 ・スポーツレクリエーション	○	スポーツ体験会に多くの子どもたちが参加しました。また、新種目(パークゴルフ)を企画するなどし、目標を達成しました。	部活動の地域移行を踏まえた取組を検討します。
		政策2-1-①	年間利用者数(人)	78,000	95,333	北区文化会館管理運営費	市民、指定管理者、行政の協働により、北区文化会館の利用を促進します。	○	ホワイエなど活用した食のイベントを初めて文化会館で開催するなどし、新規来館者の獲得に繋がりました。	
4	農業の省力化や農産物の高品質化による付加価値向上を図り、「儲かる農業」の実現を目指します。	政策9-1-②	栽培実証数(件)	2	2	「次世代農業」普及事業	農作業の省力化、品質の平準化を図るため、ICTを活用した新技術の普及に向けた栽培実証を実施します。	○	養液土耕栽培と環境モニタリングの実証実験を行い、今後の普及への道筋をつけました。	新たな協議会を設立し、区の特産であるトマト栽培のICT化を担い手対策や広報販促と併せて一層推進します。
		政策9-2-③	各種イベントへの参画・協賛(回)	6	10	地区農業振興協議会負担金	フードメッセ等のイベントへの参画、メディアなどを活用し、北区特産農産物の認知度向上、新規販路拡大に取り組みます。	○	JAや飲食店と協力し積極的にPRを実施、しるきーもマルシェでは前年の約3倍の3,500人の集客しました。	

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると回答した児童生徒の割合 ・港、空港、新潟駅、高速道路などの広域交通インフラの利便性が以前と比べて向上していると思う市民の割合 ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	北区	組織名 (準部・課・機関名)	建設課			評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	地域コミュニティ協議会などの地域団体と連携・協働しながら、学校での総合学習や部活動を推進するほか、地域における課題の解決を支援します。	政策5-3-①	官民協働によるアキグミ植栽活動に参加した人数	200人以上	190人	松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり事業	松浜海岸の砂浜を官民協働(地元小学校・住民・国土交通省・新潟市)により、アキグミの苗木を植栽し緑化することにより環境保全と飛砂対策に取り組めます。	△	松浜海岸において、官民協働によるアキグミの苗木の植栽を10月18日に実施し参加人数は190人でした。	次年度も地元の小学校や自治振興会、国土交通省などと調整を図るほか、北区各課に参加依頼を行い、同規模で実施できるよう取り組みます。
2	鉄道駅における交通結節点の機能強化と賑わいの創出を図るとともに、快適性・安全性を高めるため、駅前広場、自由通路へのエレベーターの設置をはじめとしたバリアフリー化など、ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備を推進します。	政策14-1-②	新崎駅自由通路における南口及び北口エレベーターの完成供用	年度内供用開始	南口:供用開始 北口:工事中	新崎駅自由通路エレベーター整備事業	関係機関・部署と連携しながら整備スケジュールを適切に管理し、南口及び北口エレベーターの年度内完成供用に向け事業を進めます。	△	南口エレベーターは11月17日に供用を開始しました。北口エレベーターについては9月13日に工事着手しましたが、専門技術が必要とする労働力の確保が難航し、年度内の完成・供用開始ができなくなりました。	工事中の北口エレベーターについては、R6年夏頃の供用開始を目指し工程管理を行っていきます。
3	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切に信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	研修発表実施数(回)	6	6	知識の共有化	庁内外を問わず研修会等に参加し修得した知識を、課内で情報共有することにより知識の共有化を図ると共にプレゼン能力を高め、窓口等でのより良い市民サービスの提供に努めます。	○	課内のスケジュールを調整し、前期、後期共3回(計6回)課内研修を実施しました。(発表数は14回となりました。)	今後も課内研修会を実施し、情報共有、知識共有を行い、窓口業務などのサービス向上に努めます。
4	市民が道路や公園を安心・安全に利用するため、余裕のある工期設定による品質確保や、作業効率が悪い冬期工事の回避を進めます。		上半期の工事発注率(発注本数/当初計画本数)	85%以上	91%	上半期における高い工事発注率の維持	自治会要望等に基づき年度当初に箇所付けされた工事案件について、実施に向けた関係機関との適切な協議・調整及び計画的かつ早期の発注に取り組めます。	○	担当係長から、毎月行う進捗報告会にて、発注状況を把握し、その都度目標達成に向け助言しました。 ※発注率 90.9%(80/88)	除雪が本格的になる前に全てを発注し、品質と余裕のある工期を確保するよう工程管理を徹底させます。

当初箇所付け工事本数:88本  
(整備:38本、維持:50本)

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 ・仕事に対する職員満足度 ・地域活動に参加した経験のある市民の割合	作成日	R5.5.10
組織名(部)	北区役所	組織名 (準部・課・機関名)	北出張所	評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

参照

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	迅速・丁寧・正確な窓口対応に努め、市民サービスの向上及び業務の効率化を図るため事務改善を行います。	行財1-1-①	窓口事務・内部事務に係る改善提案件数(件)	4	6	・窓口アンケートの実施 ・窓口アンケートの意見等を参考に課題を把握し、窓口事務や内部事務の改善・提案を実施	・2係及び2連絡所がそれぞれ1件以上の改善提案をします。	○	・窓口アンケートを北出張所と南浜・濁川の各連絡所で実施し、合計72件のアンケートを回収しました。 ・このアンケート結果を踏まえ、職員で検討会議を開催し、6件の窓口改善提案をまとめました。	・お客様の声を聴く貴重な機会となっているため、今後とも窓口アンケートを継続し、市民サービス向上につなげていきます。
2	質の高いサービスを提供するため、係を超えた複数の業務を行うことができるなど、職員の実務能力の向上に取り組めます。	行財1-4-①	各種研修会・講習会等への参加延べ回数(回)	68	96	・業務専門研修への参加と職場内伝達研修の実施 ・係間及び出張所・連絡所間の相互応援体制充実のための職場内研修の実施 ・他出張所との交流研修等	・研修対象職員1人平均4回以上の研修・講習会等に参加します。 (対象職員17名×4回=68)	○	・研修会等参加者の延べ人数は、目標を上回る96回となりました。 ・正職、再任用、会計年度任用職員を問わず全ての職員が研修に参加することができました。	・ニーズの多様化など職員を取り巻く環境が大きく変化し続ける中で、特に専門的分野の知識を深めていくことは重要であると考えています。 ・職員の労働意欲の向上と、市民サービス向上のため、今後とも職員研修を進めていきます。
3	地域課題を情報共有しながら、地域団体の活動を支援します。	政策1-1-①	各地域団体の会議・行事等への参加又は支援した件数(件)	76	98	・各地域団体の会議や行事等への参加 ・各地域団体への支援	・北地区の地域コミュニティ協議会や自治振興会などの会議や行事等へ参加し、地域課題について情報共有を図り、課題解決に向け助言等を行い、地域団体の活動を支援します。	○	・今年度は、新型コロナウイルスの規制が無くなり、イベントが復活したことなどで、目標を上回る98件となりました。	・今後とも地域団体への支援活動を積極的に行い、地域に信頼される施設となるよう努力していきます。